

南山だより



東京都港区元麻布3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-tky.ed.jp

相手を知る 自分を知る ～12月4日から10日まで「人権週間」です～

【アニメ「ドラえもん」から考える】

「ドラえもん」に登場する「のび太」は、自尊感情(ありのままの自分を受け入れる感情)が低い子です。一般的に自尊感情が低い場合、失敗したり、怒られたりすると、ひどく落ち込み、次に向かうことが困難です。

のび太のお母さんは「○○しなさい」「○○してはいけません」と指示や命令の言葉をよく発します。のび太のお母さんは「しつけ」のつもりで言っているのかもしれませんが、のび太の心には響いていない場面を時々見かけます。このようなのび太にドラえもんは「失敗してもいいよ」「やっごらん」「大丈夫」「きみならできるよ」と励ましています。この励ましのおかげで、のび太は何とか行動しますが、その結果、成功や失敗をします。成功をするとドラえもんは「のび太君、よかったね」と言って、のび太の気持ちに寄り添います。のび太が失敗をしても、ドラえもんは、のび太を非難しません。

このドラえもんとのび太の接し方から、私は子供との望ましい接し方を考えさせられます。

【メッセージの伝え方】

「○○できたからえらい」と褒めることは、できた結果だけを認めていることとなります。それ故、できないことで子供は「自分はダメだ」と思ってしまいます。子供が大切なことをやろうとした意欲や努力を認め、失敗しても大丈夫という周りからの働きかけがあれば、子供は「またがんばろう」という気持ちが出てきます。また、当たり前でできたことを「すごい」と認めることも大切です。こうした経験の積み重ねが「自分のことを見ている人が必ずいる」と子供に安心感を与え、自らを成長させる力になります。

「あなたはえらい」と評価するだけでなく、「私はうれしい」と自分を主語にした言葉をかけることで、子供は「自分の行動は他者を喜ばすことができる」と役に立った自分に自信をもちます。叱る時も「あなたは…(怒り)…」ではなく、「私は悲しい」と自分を主語とすることで、子供は「自分の言動が相手をこんなに悲しませている」と反省します。

【子供の健やかな成長を願って】

自分の子だけをよい子にしようと思っても、なかなか思うようにいかないのが子育てです。自分の子供の友達も一緒に見守り、育てていくことが、我が子の成長につながります。つまり、周りの友達がよくなると、我が子もよくなるということです。子供の社会は、日々切磋琢磨です。どの子にもよいところはたくさんあります。よきを見付けて、子供に気付かせ、自信をもたせるのが家庭や学校、地域の果たす役割です。

これからも元気で明るく、素直で笑顔が素敵な子供に成長することを楽しむ家庭、学校、地域でありたいと願っています。今年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。令和4年も、どうぞよろしく願います。

おめでとう開校 145 周年記念「笑顔よ つづけ GO NANZAN！」

特別活動部

今年は南山小学校開校 145 周年です。145 周年をお祝いする取り組みとして、「航空写真撮影」「ようこそ先輩」「145 周年児童集会」「バルーンリリース」を行いました。

「ようこそ先輩」では、南山小学校の卒業生に来ていただき、南山小学校の歴史や過去の給食、遊びなどの学校生活についてお話をさせていただきました。子供たちは、今と昔の違いに関心をもち、意欲的に話を聞いたり、質問をしたりしていました。「145 周年児童集会」では、縦割り班でオリエンテーリングを行いました。班長の 6 年生の話をよく聞いて行動し、学年の垣根を越えてオリエンテーリングを楽しみました。その後校庭で「バルーンリリース」を行いました。全校で風船を飛ばした景色は圧巻でした。子供たちも「一生忘れられない景色だった。」「風船が天の川や虹のように見えて綺麗だった。」と思い出に残ったようです。撮影した航空写真は、記念品のファイルになって配布していますので、ぜひご覧ください。



航空写真



ようこそ先輩



オリエンテーリング



バルーンリリース

GIGA スクールについて

GIGA スクール担当

GIGA スクールとは、文部科学省が提唱するこれからの時代を生き抜く全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協同的な学びを実現させるための ICT を中心とした環境整備のことで、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常のものとなっています。PC 端末は鉛筆やノートと並ぶ必需品になってきました。

※GIGA=Global and Innovation Gateway for All(全ての人々のためのグローバルで革新的な政界への入り口)

本校の算数の学習では、内容に応じてタブレットを使用しています。タブレット上で考えを共有できる機能を通して、お互いに高め合う学びが促進され、自らの考えを広げたり深めたりできるようになりました。誰もが意見を出せるようになり、じっくり話し合いができることは大変喜ばしいことです。また、タブレットを使用したドリル学習を行うことで、自分の学習進度や興味に合わせて学ぶことができるようになりました。

児童が ICT を適切・安全に使いこなすことができるようするためには、家庭と連携した児童の健康への配慮が不可欠です。パスワードの管理をはじめ、使用時間、閲覧サイト、画像や動画のネット上への投稿、チャットでのやりとりなど、児童がインターネット上の犯罪等の被害者や加害者にならないよう適切な指導が必要です。学校でもタブレット端末の使い方を指導していきますが、日頃からご家庭で児童の安全を第一に、インターネットやスマートフォンなどの使い方を話し合ってくださいようお願いいたします。

1 2 月行事予定

1 日 (水)	ふれあい月間標語発表	1 3 日 (月)	避難訓練
2 日 (木)	移動教室 (6 年)	1 5 日 (水)	クラブ活動
3 日 (金)	移動教室 (6 年)	2 4 日 (金)	終業式

1 6 日 (木) ~ 2 3 日 (木) 個人面談

1 2 月生活目標

一年のふりかえりをしよう